ひよこ幼児園 評価報告書

報告日: 2026 年 3 月 31 日

1. 評価体制

当園では、保育の質の向上を目指し、以下の 4 つの視点から総合的な評価を実施しました。

- ●職員自己評価: 職員一人ひとりが、日々の保育実践を振り返り、質の向上に繋がった点や課題を明確にしました。
- ●保護者評価: アンケートなどを通じ、保護者の皆様のご意見を幅広く収集し、保育内容や運営に反映させました。
- ●地域評価: 地域との交流会などで得られたご意見や感想を、施設の評価に組み込みました。
- ●施設評価: 上記 3 つの評価を総合的にまとめ、園全体の評価としました。

2. 保育の質の向上に向けた取り組みと評価結果

(1) 職員の専門性向上

当園では、他の園との交流を通じて新たな保育の知識や技術を学ぶ機会を設け、職員一人ひとりが常に視野を広げられるよう努めています。

また、日々の保育を振り返る自己評価を継続的に行うことで、より良い保育へと繋がるよう改善を図っています。これらの取り組みにより、職員が新たな視点を獲得し、専門性の向上に繋がっていると実感しています。

今後は、この自己評価を継続的に実施し、保育の質の向上に努めていきます。

(2) 地域との連携強化

運動会や発表会など地域の方々との交流を積極的に行い、子どもたちに多様な経験を提供するとともに、地域との連携を深めています。

この取り組みを通じて、園外での活動が活発化し、地域全体で子どもたちの成長を見守る体制が築かれつつあります。

今後も地域との交流を更に深め、園外での活動も保育の質の向上に繋げていきます。

(3) 情報発信と透明性の確保

これまで地域に向けてチラシを作成し、配布を行いました。今後は、さらに多くの地域住民に園の活動を理解していただくため、積極的なアナウンスも行い、透明性を高めていきたいと考えています。チラシや地域の方々との連携を通して、日々の保育の様子や園の理念を保護者や地域に伝え、信頼関係が向上しています。評価報告書は定期的に作成し、保護者や地域に公表することで、開かれた園を目指します。

（**4**）運営の工夫と保護者負担の軽減

物価高騰が続く中で、保護者の皆様の負担を少しでも軽減できるよう、備品のサブスクリプションが保護者の負担を軽減し喜ばれています。

3. 今後の展望と考察

（**1**）職員の専門性向上について

自己評価の結果、職員一人ひとりが保育実践に対する課題意識を強く持つことが明らかになりました。今後は、この意識を具体的な行動へと繋げるため、外部研修への参加支援や、園内での事例検討会の定期開催を計画しています。これにより、職員の専門性をさらに高め、より質の高い保育へと繋げていきます。

（**2**）地域との連携について

年間を通じて多様な地域交流イベントを企画し、より多くの地域の方々との関わりを創出していきます。

（**3**）情報発信について

チラシやアナウンスによる情報発信は一定の成果を上げていますが、より効率的かつ広範な情報発信の必要性も認識しています。そのため、今後はウェブサイトの活用やSNS 等での情報発信についても検討を進め、園の透明性をさらに高めていきたいと考えています。

（**4**）運営の工夫について

保護者の皆様の声に耳を傾け、より良い運営方法を継続的に模索していきます。